



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 **大倉山地区**

●団体名 **大倉山地区花と緑のまちづくり実行委員会**

●計画名 **地域が協働!「花と緑」のキーワードで
住み良い町へ、住み続けたい町へ**



◎所在地：港北区大倉山一丁目
ほか

◎取組期間 **3** 年

◎協定締結期間

平成**30**～令和**2**年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

当地区では以前より、川まちづくりや桜並木の植樹、太尾堤緑道の花壇整備などを地域住民、商店会、行政等が協働して取り組んできました。大倉山記念館から梅林、太尾堤緑道、鶴見川を周遊できる緑のルートを作り、終点の太尾南公園では地域住民が中心となり「さくら祭り」を開催しています。こうして今まで積み重ねてきた緑を増やす取り組みを、緑が身近に少ない地域の方々や、子どもに土や緑の体験をさせたいと願っている若い親の世代に広げていきます。



取組(計画)の概要

これまで取り組んできた緑化活動を、連合町内会全体に広げるため、各町内会(10町会)の拠点ごとに「コミュニティーガーデン」をつくり、歩いて行ける身近な場所で、土や緑に接し、世話をして楽しむことができるようにします。各拠点をめぐるルートを設定し、沿道を緑化することで、緑を訪ねて歩いて楽しめるまちづくりを目指します。グリーンウォーキングマップの作製など、より多くの住民が緑化活動への参加ができるような広報活動を実施します。緑化活動により、地域活動に参加する住民を増やし、季節ごとに楽しめる花壇の周知や、地域が緑でつながることの魅力を発信していきます。地域の中でコミュニティーガーデンを通した顔の見える関係性を作り、緑化活動を糸口として、地域の課題を解決します。



下町会子どもの遊び場の花壇



宮前町会のオリーブのまちづくり



市ノ坪公園の花壇



白樺町会館前の花壇



親和町会太尾堤緑道の花壇



市ノ坪町会子どもの遊び場の花壇



市ノ坪第二公園の花壇



中町会・大倉山駅前のプランター花壇



太尾町第三公園の花壇

主な取組み実績

助成金額合計：8,708千円

民有地緑化

10町内会でコミュニティガーデンを整備しました!

中町会、西町会、南町会、親和町会、明和会、市之坪町会、下町会、白樺町会、神明町会、宮前町会の10町会で個人宅の庭先や店舗、公共施設、公園などで、プランター、花壇、植樹による緑化を行いました。緑化を進める中で、新たに参加したいという手も上がり、3年間で13か所のコミュニティガーデンをはじめ、合計39か所で緑化整備を行いました。

活動支援

『大倉山みどりのまちMAP』を作成し、連合町内会で配布しました!

3年間で整備した13のコミュニティガーデンを紹介する『大倉山みどりのまちMAP』を8,000部作成し、連合町内会で各戸配付しました。また、区役所にも配架したので、多くの方が手に取って、大倉山のみどりのまちを散歩していただきました。

3か年の取組みを振り返って

3年間を通して、各町会の緑化計画を連合町内会、商店会、NPOで組織した実行委員会でもとめて緑化を行いました。まち全体にコミュニティ花壇が整備され、大倉山地区が求める「夢まちづくり」に近づくことができました。各町会の役員だけでなく、シニア会や子供会、婦人部など、みんなと一緒に作業をすることで、まちの緑に対する意識が変わりました。子どもたちも花壇の花を大事にするようになり、地域一同喜んでいきます。

【問合せ】
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
【TEL】045-671-3447
【FAX】045-224-6627
【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp